

学校 教育 目標	はばたけ都田の子 ～元気・勇気・本気～ ○学ぶ楽しさを知り、共に高めあう子を育てます。(知) ○自分も友だちも大好きな、あたたかい子を育てます。(徳)(公)(開) ○心と体を鍛え、健やかな子を育てます。(体)				
	学校概要 創立 125 周年 児童生徒数: 509 人	学校長 今村 行道 副校長 小山 進治	2 学期制 一般学級: 15 個別支援学級: 4	主な関係校: 都田中学校	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	都田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する能力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	都田中学校 都田小学校 都田西小学校 折本小学校	○思いやりと自信をもって未来を切り拓く子ども ○学び合い、心身ともに、健やかに生活できる子ども ・「思考力・判断力・表現力」の育成を授業研のテーマとして設定し、カリキュラム・マネジメントを通してテーマを意識した授業を展開する。 ・ユニバーサルデザインの教室環境づくり、授業づくりを推進する。 ・定期的に行う小中教務会や専任会などで得た情報を基に、小中連携、小小連携を進め、授業参観、部活動体験等、児童・生徒の交流を行う。

中期 取組 目標	○児童、家庭、地域と豊かに関わる中で、 ・全職員が学校経営の主体者という意識をもち、学校教育目標実現に向け、愛される学校づくりを推進します。 ・一人ひとりの児童が、学ぶ・できる楽しさを実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を目指します。 ・児童が思いやりをもち、互いのよさを認め合える「誰にも優しい学校」づくりを目指します。 ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携し、地域に根ざした学校づくりを推進します。 ○行事や研究をPDCAサイクルで推進し、改善点を生かした計画を立案することで、職員の帰属意識を高め、責任のある教育活動を展開します。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①児童が自分の思いや考えを自分の言葉で伝えていけるよう、各教科で言語表現や図・表などを活用した表現活動を意識的に取り入れ、表現力を伸ばす。②見方・考え方を働かせて学ぶ児童の姿を目指した指導のあり方について、重点研を通して研究する。
豊かな心	①他者との違いやよさに気付き、個性を認め合える態度の育成について、交流の仕方を工夫し様々な場面で意識を高める。②日頃から「あいさつ」のよさについて考え、自ら進んで学校内外で取り組めるようにする。③道徳の授業を中核に据え、指導内容の明確化を図り、実践的態度を育てる。
健やかな体	①一校一実践の取組の中で、「なわとび運動」を継続し、巧みな動きや巧緻性、体力の増進を図ると同時に運動量の確保を重視した授業を展開する。②「早寝・早起き」「朝食の励行」「感染症予防」について、養護教諭の話やプリント配布等を活用して、児童・保護者への啓発を図る。
児童・生徒指導	①学校スタンダードに明記された約束・きまりを定期的に検証し、全職員での共通理解を図る。②幼保小、小中、小小と連携しながら児童支援専任を中心に、全職員で組織的な児童指導を行う。③職員間の情報共有を徹底し、組織対応を前提とした児童指導を展開する。
地域連携	①行事に伴う学校評価に加え、定期的に教育活動評価を行い、結果を検証し次年度に向けた方向性を定める。②学校だよりやHPを活用して保護者や地域へ積極的に情報発信を行うと共に、地域行事に可能な限り参加し、保護者や地域の声に耳を傾ける。
特別支援教育	①講師を招聘した研修や、関係機関との連携で、職員の特別支援教育に対する理解力及び応用力を育成する。②保護者や関係機関と連携しながら個別の支援計画を作成し、特別な教育的支援を必要とする児童に対する支援を組織的、かつ計画的に進める。
学校運営協議会	①コロナの状況を見極めながら活動内容を吟味し、委員の方々の評価を受け、内容を共有する。②保護者や児童からの評価項目を具体的取組と連動させながら精選し、次年度の取組に生かす。③地域との情報交換を適宜行い、次年度以降の中期取組目標に生かしていく。
自分づくり教育 (キャリア教育)	①キャリアパスポートを活用し、自分の役割や責任、目標などを設定し、適宜振り返りを行い、役割や目標を意識して行動できるようにする。②コロナの状況に応じて、地域の方々とかわる学習を年間計画に位置付ける。また、様々な教科の学習を通して、職業観・勤労観を育む学習を設定する。
いじめへの対応	①誰もが、安心して、豊かに生活できる学校を目指し、児童が主体となりいじめを防ぐことができるよう指導、支援する。②いじめを絶対に許さないこと、いじめられている児童を守り抜くことを表明し、いじめの積極的な認知・解消に努めるとともに、学校長のリーダーシップのもと組織的に取り組む。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①学校運営組織を活用し、業務を部長や委員長を中心として連携して行うことで、ミドルリーダーの育成に努める。②メンターチームの活動と連携しながら、1人1回の校内研究授業を行い、授業力の向上に努める。③デジタル健康観察システムを導入し、業務の軽減を図るとともに、会議の精選と時間短縮を行い、職員の退勤時間を早めることに努める。